

第30期

島づくり人材養成大学

— 島づくりのプレイングマネージャーを目指して —

開催要領

令和4年5月

公益財団法人日本離島センター

1. 「島づくり人材養成大学」とは

(1) 趣旨

今日の離島は、わが国の経済社会が急速に変化する中で、これまでの離島振興事業を中心とした施策だけでは十分対応できないさまざまな課題を抱えています。人口減少社会に入り、急激な過疎化・高齢化が進展している現況を鑑みると、地域独自の創意と工夫を凝らした離島地域社会の創造が急務となっているといえます。

そこで公益財団法人日本離島センターでは、各島々でコミュニティの活性化や産業振興に取り組んでいる実践者を中心に、地域づくりの核となるリーダーを育成するための短期集中型の研修「島づくり人材養成大学」を、平成4年度から毎年開催しています（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止）。

この島づくり人材養成大学では、日常から離れて自分自身を見つめ直し、島人同士で交流・課題を共有するなかで、島を取り巻く環境や求められているニーズを的確に把握していきます。そして、島の有形・無形の資源の再発見や有効活用方法の模索などを通して「島でやらなくてはならないこと」「自分にできること」の具体化を目指します。ワークショップを通じて新しい発想を学び合い、課題解決のための技術を磨き、最終日までに各自が島づくりの具体的なプランを構想して発表を行うことで、情報化社会が一層進展し、生き方や働き方の多様化が求められる「新しい日常」に対応しうる、創造性を兼ね備えたバイタリティにあふれる人材が、全国の島々からこれまでに延べ602人誕生しています。



東京都港区・島嶼会館で開催した令和3年度第29回島づくり人材養成大学の模様。島人同士で交流し、お互いの島の課題を共有したり、新しい発想を学び合う。本研修を機に、世代や地域を超えたネットワークが広く強く結ばれつつある。

(2) 建学の精神

- ①島づくりは、地域住民自らの手で工夫し実践する。
- ②地域に誇りを持ち、地域の特色を活かした独創的な島づくりを行う。
- ③グローバル時代にふさわしい広い視野と長期的な視点に立ち、地域住民が求めているもの、地域住民に求められているものを的確に把握し対応する。

以上の視点に立って積極果敢な行動と斬新かつ大胆な発想のできる地域リーダーたる人材を養成する。

(3) 主催

公益財団法人日本離島センター

(4) 後援（予定）

国土交通省／離島振興対策協議会（27関係都道府県）／全国離島振興協議会（141関係市町村）

(5) 本講座について

テーマ：島づくりのプレイングマネージャーを目指して

近年、生き方や働き方に対する価値観の多様化、情報化社会に進展等によるライフスタイルの変化などにともない、離島の産業振興・地域社会の活性化には、実情に応じた柔軟な対応が求められています。また、生活基盤である地域コミュニティを次世代へ引き渡していくことも喫緊の課題となっています。これらの問題を解決していくためには、住民自らが主体となり、与えられた条件と環境の下で地域の資源を最大限に活用し、地域にとって本当に必要なものは何なのかを見極め、真剣に意見を出し合いながら、実際に行動へと移していく力が必要となります。

過去の島づくり人材養成大学では、地域づくりを実践されている方（プレイヤー）、また地域づくりに興味関心のある方を対象に、島づくりのアクションプランを考える講座を中心としたプログラムを行ってききましたが、昨年度は、「島づくりのプレイングマネージャーを目指して」をテーマに、自身は実践者でありながら、周囲を巻き込んでいける（コーチングできる）ような「プレイングマネージャー」の育成を見据え、ファシリテーションス

キル等を学ぶ内容としました。今年度も引き続きプレイングマネージャーの養成に向けたプログラムを中心に、地域づくりの取り組みにとって大切なコミュニケーションの技術をはじめ、活動を始めるきっかけづくり、その活動の継続・拡大といった内容について、ワークショップを通じて学んでいきます。

2. 募集対象と人数

(1) 募集対象

地域づくりに取り組んでいる、または地域づくりに関心があり、下記条件を満たす者。

- ①公益財団法人日本離島センター、または全国離島振興協議会に加入している市町村の離島に在住している者
- ②全国離島振興協議会の都道府県支部長（支部の設置のない市町村では各市町村長）から推薦された者

(2) 募集人数

20人程度

※受講希望者多数の場合は、事務局にて選抜いたします。

3. 開催期間（スケジュール予定） ※詳細は、後日受講者に連絡します。

(1) 事前オンライン研修（8月頃）

- ・受講者の顔合わせ、ウェブ上で可能なプログラムを事前ワークとして実施予定

(2) 現地研修（10月5日（水）～7日（金）の2泊3日。開催地：島根県西ノ島町）

10月4日（火）

- ・前泊（希望者のみ）：島根県松江市「レインボープラザホテル」

10月5日（水）

- ・午前：七類港（松江市）に集合
フェリーで別府港（西ノ島町）へ
- ・午後：開校式、ガイダンス、ワークショップ①、交流会

10月6日（木）

- ・午前：事例研究（西ノ島町内視察）
- ・午後：ワークショップ②

10月7日（金）

- ・午前：ワークショップ③
- ・午後：最終発表、ふりかえり、総評、修了式
別府港から、フェリーで境港（鳥取県境港市）へ。着後、解散

(3) 事後オンライン研修（11月および翌年2月頃の計2回）

- ・島に戻ってからの受講者の様子の確認や、本財団の人材育成基金助成事業の募集開始のお知らせ等の情報提供など、講師や事務局によるフォローアップを予定

4. 現地研修の宿泊および参加経費の負担について

(1) 宿泊場所

受講者は、西ノ島町での宿泊（2泊3日）を原則とします。1名1室を本財団で確保いたします。

10月4日（前泊）の宿も本財団で確保いたしますが、翌5日の七類港発フェリーの乗船に間に合うならば、必ずしも前泊を求めません。

(2) 参加経費の負担について

研修にかかる費用（受講費、教材費、会場費など）、研修期間中の滞在費（前泊を含む

宿泊費、食費など）および新型コロナウイルス検査費は本財団で負担いたします。

居住地から集合・解散場所までの往復旅費は、受講者自身でご負担ください。

5. 担当講師

西原 弘（にしはら ひろし）

東京大学文学部卒。株式会社三菱総合研究所研究員を経て、平成14年に有限会社サステイナブル・デザイン研究所（現・有限会社サステイナブル・デザイン）を設立。「長続きする社会づくり」をキーワードに、環境・コミュニケーションに関する調査・研究・コンサルティングなどに取り組む。同19年より島づくり人材養成大学の講師として、「地域の経営」「人生の経営」などの観点から、やる意味のある・やる気の出るプランニングを指導している。このほかNPO法人東京城南環境カウンセラー協議会理事（平成22年より専務理事）、NPO法人日本ガラパゴスの会理事、内閣府地方創生SDGs官民連携プラットフォーム「SDGs公務員& ESG & CSV ビジネスモデルと人材育成」分科会員なども務める。

6. 参加申込方法

(1) 提出書類

「第30期島づくり人材養成大学受講申込書」

(2) 提出方法と期限

- ・会員市町村は、受講申込書を取りまとめ、6月30日（木）必着で都道府県支部に提出してください。
- ・都道府県支部（支部の設置のない都道府県の市町村）は受講申込書を取りまとめ、7月4日（月）必着で本財団理事長宛の申込文書を添付し提出してください。
※受講希望者がいない場合にも、本財団宛てにその旨をご報告ください。
- ・後日、申込のあった支部・市町村に「受講決定通知」を送付いたします。また、詳しい内容については、受講者に「受講決定通知」とともに事務局より直接連絡いたします。

7. 留意事項および問い合わせ先

(1) 開講の中止について

新型コロナウイルスの拡大状況や緊急事態宣言の発令の有無などを勘案の上、開講を中止する場合があります。その場合は、申込のあった支部・市町村および受講希望者に事務局より連絡いたします。

現地研修の開催中止にあたっては、航空券のキャンセル料等これにより受講生に発生する経費について、本財団で負担いたします。

(2) 問い合わせ先

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館5階

公益財団法人日本離島センター「島づくり人材養成大学」係（担当：奥村・森田）

TEL 03-3591-1151

E-mail shimadai@nijinet.or.jp